

一般質問



金井田 議員

○松浦産未利用魚について

質 未利用魚とは、おいしいけれど、見た目が悪い、傷があるなどの理由で規格外とされ、魚市場で正式な競りや入札が行われない魚のことです。

本市で水揚げされる未利用魚の取引と流通を改善できれば、持続可能な水産資源の食料システムを作ることができると考えますが、市長の见解をお尋ねします。

市長 まずは未利用魚に付加価値をつけることが重要と考えます。

また、消費者の認知度を高めるために、料理教室や試食イベントを通じて、未利用魚の調理方法を紹介することも効果的だと考えています。

これらに加え、骨を取り除く技術や臭みを取る技術など、加工技術を開発・導入することが必要と考えられます。このような取り組みを行った上で、地域の漁業者、加工業者および小売業者が連携し、未利用魚の効果的な流通を図ることが重要だと考えています。今後機会を捉え、対応を検討します。

○陸上養殖について

質 陸上養殖は、海面養殖と違い、閉鎖循環システムを利用することで水質汚染を防ぎ、外部環境の変動にも左右されない安定した生産が可能であるため、海洋環境への影響を最小限に抑えることができます。

陸上養殖は持続可能な未来を実現するための重要な手段として今後ますます注目されると考えています。陸上養殖に対する市長の见解をお尋ねします。

市長 本市では、伊万里湾の静穏な漁場特性を生かし、海面での養殖業が盛んですが、閉鎖的であるがために、これまで何度も赤潮による漁業被害が発生した漁場でもあり、この課題を解決する方法のひとつとして、環境変化に強い陸上養殖があると考えています。また陸上養殖の技術開発は進歩しており、エネルギーコストの低下、環境配慮型など、さまざまな技術が開発されています。

しかしながら、陸上養殖を行うためには、海面と同等の生育環境を整備するために多額の投資と高度な技術が必要であり、施設整備用地の確保、海水の供給、排水施設も必要になります。また海面漁業においても技術開発が進んでいることから、本市において養殖業をどのような形で振興し、持続可能な水産業としていくのか、長崎県とも連携して研究していきたいと考えています。

一般質問



立 鈴 議員

○著しい気候変動に伴う農業・漁業及び畜産業の現況について

質 農業、畜産業、水産業者は、著しい気候変動に伴う日々の猛暑により、厳しい経営に直面し、一層深刻さを増している。農業機器諸経費および燃料費増大、畜産業では、牛の価格低下、高齢化に伴う畜産廃業による稲WCS（発酵粗飼料）耕作地の荒廃地拡大が進んでおり、水産業では、赤潮発生が甚大な被害を及ぼしている。これらの第一次産業は命に直結している。現状を伺う。

農林課長 肥料価格は、直近で最も高かった令和5年4月に比べれば持ち直していますが、今年7月においても高い水準となっています。

牛の飼料価格は、直近で最も高かったのは令和4年11月ですが、今年7月においても高い水準となっています。

農機具は、今年7月が過去最高の水準となっています。

子牛の販売額は、令和5年9月が最も低く、今年8月もそれに次ぐ安値でした。

水産課長 新松浦漁協が伊万里湾内の海面3か所で、赤潮のプランクト

ンの発生を早期に観測するためのテレメーターを設置しており、今年も6月から伊万里湾の奥の方を監視していましたが、今回は外海の方からの発生であったと見られ、警戒が追いつかなかったところでした。

○市内商店街の購買力向上への現況について

質 市内商店街の購買力向上が形に表れるのは、まず私達が松浦市内商店街で賄える必要品目は一品でも多く買い物をし、購買力を上げる認識を一人一人が強く持つ事だと思う。

そのことにより個々の商店は所得増となり、効果は計り知れない。

商店主、商工会議所、消費者、行政の方々の協力で知恵を出し合い、以後、シャッターが閉まる市内商店を無くし、購買力の向上、所得増加となる効果的な施策を図るべきと思うが、市は現状をどう捉えているのか伺う。

産業振興課長 市内商店街の現状ですが、物価高騰や人件費高騰の影響を受け、売り上げはコロナ禍以前までには戻らず、特に飲食店では、運転代行業者の減少等により営業時間を短縮する店舗もあり、依然として厳しい状況にあります。また一方でアジフライの聖地の認知度向上により、売上げが増えている店舗もあり、と松浦商工会議所と福鷹商工会からお聞きしています。